

令和 7 年 度
(2025年度)

学校関係者評価報告書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 3 1 日まで

令和 8 年 5 月 1 日

学校法人 浅井学園
札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME

令和 7 年度 学校関係者評価について

1. 概要

札幌ファッションデザイン専門学校 **DOREME** が、教育水準の向上及び活性化、社会的責任を果たす事を目的として、学則を基本として学校の目標と教育の実態を照らし合わせ、自らの教育活動等の状況について自己点検を行い、現状把握及び認識をした上で、その結果を踏まえ、自己評価し、その結果について学校関係者の評価を行った。

2. 実施日時

令和 7 年 3 月 2 7 日（金） 1 5 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0

3. 実施場所

本校 D ルーム

4. 実施方法

1) 実施組織：学校関係者評価委員会

＜学校関係者評価委員＞

- ・荒井 三明 様（有限会社スージーパーカー代表取締役）：企業等役員
- ・工藤 知徳 様（有限会社東陽商事営業企画チーフ）：卒業生
- ・富田 玲子 様（学校法人浅井学園北翔大学教授）：教育関係者
- ・石岡 美久 様（有限会社ゲノム代表取締役）：教育関係者

＜学校側参加者＞

- ・浅井 学 （札幌ファッションデザイン専門学校 **DOREME** 校長）
- ・川村 明美（札幌ファッションデザイン専門学校 **DOREME** 教頭）

2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

3) 評価方法：令和 5 年度学校運営・教育活動実績報告に対する学校関係者評価

5. 評価項目

次の 1 0 項目について実施

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学習成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生受入募集
- 8) 財務状況

9) 法令等の遵守

10) 社会貢献・地域貢献

6. 評価項目に対する評価

1) 4段階点数評価とする

2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

①項目3 教育活動に関する質問

(委員からの質問)

休学退学者について、改善をする方法について

(本学の回答)

休学・退学対応として実施予定であった隔週水曜日を休日とし、通いやすい環境を整えた。今年度はこれがしっかりと実施できて、休学・退学の減少につながっている。

(委員からの質問)

卒業生との連携について。

(本学の回答)

卒業生が本校の施設や設備を気軽に利用できる仕組みを構築し、その際に学生と交流ができる環境を整えていきたい。

(委員からの質問)

学生のメンタルケアはどのように行っているのか

(本学の回答)

いまの学生たちの特徴として、漠然とした不安を抱えており、ネガティブな思考が目立つ。まずは自分自身を認め「できる」ことを積み重ねて、自信を植え付けることを積み重ねている。その中で、学校の対応の枠を超える医療行為が必要に見受けられる学生に対しては、本学と専属提携している心の診療所のような病院の一つ前の機関へ足を運ぶように「促す」などの活動を行っている。

②項目10 社会貢献・地域貢献に関する質問

(委員からの質問)

社会貢献・地域貢献を詳しく教えて欲しい

(本学の回答)

4月3日～6日エカス写真展 (in 旧校舎)、5/25 ライラック祭り参加、7/13 裏参道祭りファッションショー参加、9/13 札幌ストリートフェスタ参加、10/4 大丸札幌店エコフファッションショー参加、10/25・26 マルヤマクラスハウスイノベーション参加

7. その他

1) 令和6年度の学校自己点検・評価報告書を基に点数評価を頂いた。

- ・項目 1 教育理念・目標 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 2 学校運営 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 3 教育活動 評価項目 3.5
課題：資格取得率の向上に向けて、更なる改善が必要
- ・項目 4 学習成果 評価項目 3.5
課題：学生の習熟度を把握する方策を検討する必要がある
- ・項目 5 学生支援 評価項目 3.8
課題：休学・退学の低減に向けた施策を計画する必要がある
- ・項目 6 教育環境 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 7 学生受入募集 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 8 財務状況 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 9 法令等の遵守 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 10 社会貢献・地域貢献 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価